

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	歴史特論
科目基礎情報						
科目番号	104230		科目区分	一般 / 同時開講		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	環境材料工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	資料プリント					
担当教員	佐伯 徳哉					
到達目標						
1、古文書・古絵図・考古資料や科学的分析を手掛かりに歴史を総合的に再構成して論じることができる。 2、日本史の全体の動きとも関連付けながら地域の歴史を論じることができる。 3、地域の史跡・文化財等を主体的に調査し、歴史の動きと今日に伝えられた伝統文化との関係について発表できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	古文書・古絵図・考古資料・科学分析を相互に関連させながら歴史を再構成し文章で表現できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々から歴史を再構成し文章で表現できる。		古文書・古絵図・考古資料・科学分析個々の内容が理解できない。	
評価項目2	日本史の全体の動きの座標に地域の歴史を位置づけ文章で述べることができる。		日本史全体の動きと地域の歴史を相互に関連づけながら文章で述べることができる。		相互の関連を述べることができない。	
評価項目3	地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史の座標に位置づけながらその歴史的・文化的意義ならびに今日的意義について述べるができる。		地域の史跡・文化財から調査対象やテーマを自ら選び、歴史お座標に位置づけながら説明することができる。		地域の史跡・文化財の個別的説明しかできない。	
学科の到達目標項目との関係						
教養 (D)						
教育方法等						
概要	日本の主要な神社のひとつである出雲大社の巨大神殿造営・遷宮の歴史を古代・中世にかけて解明することを通じ、また、瀬戸内伊予地域と日本海側出雲地域の鎌倉時代史の比較から、中世の文化・政治・体制の在り方を考察する。					
授業の進め方・方法	講義形式、発表形式、作業					
注意点	3年生の歴史2で勉強した古代・中世・近世の歴史をおさらいしておいてください。					
本科目の区分						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	西暦2000年 出雲大社境内遺跡発掘調査情報の概要		1	
		3週	現在の出雲大社の境内と社殿		1. 2	
		4週	巨大神殿の想定復元図を描く（作業）		1	
		5週	古代の文献に見える出雲大社		1、2	
		6週	摂関政治時代の体制と出雲大社顛倒詐称事件（1）		1. 2	
		7週	摂関政治時代の体制と出雲大社顛倒詐称事件（2）		1. 2	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	院政時代の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（1）		1. 2	
		10週	院政時代の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（2）		1. 2	
		11週	院政時代の政治体制と出雲大社の造営・遷宮（3）		1. 2	
		12週	平氏政権から鎌倉時代成立期の出雲大社造営		1. 2	
		13週	平氏政権の台頭・滅亡と鎌倉幕府の成立史		1. 2	
		14週	鎌倉幕府勢力の出雲地域への浸透		1. 2	
		15週	鎌倉時代の政治史と出雲大社造営・遷宮（1）		1. 2	
		16週	期末試験			
後期	3rdQ	1週	鎌倉時代の政治史と出雲大社造営・遷宮（2）		1. 2	
		2週	古絵図からみた鎌倉時代の出雲大社周辺景観（1）		1. 2	
		3週	古絵図からみた鎌倉時代の出雲大社周辺景観（2）		1. 2	
		4週	地域文化財の調査成果発表		1. 2、3	
		5週	伊予国の平安末期から鎌倉時代		1. 2	
		6週	伊予国の鎌倉時代（1）		1. 2	
		7週	伊予国の鎌倉時代（2）		1. 2	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	鎌倉時代後半における出雲大社造営遅滞（1）		1. 2	
		10週	鎌倉時代後半における出雲大社造営遅滞（2）		1. 2	
		11週	南北朝・室町時代における出雲大社造営		1. 2	
		12週	戦国時代の出雲大社造営と境内景観		1. 2	
		13週	地域文化財の調査研究発表		1. 2、3	
		14週	地域文化財の調査研究発表		1. 2. 3	
		15週	地域文化財の調査研究発表		1. 2. 3	

		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	
			公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
				自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	
評価割合						
		試験	発表・態度	相互評価	合計	
総合評価割合		70	30	0	100	
基礎的能力		70	30	0	100	
専門的能力		0	0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	0	